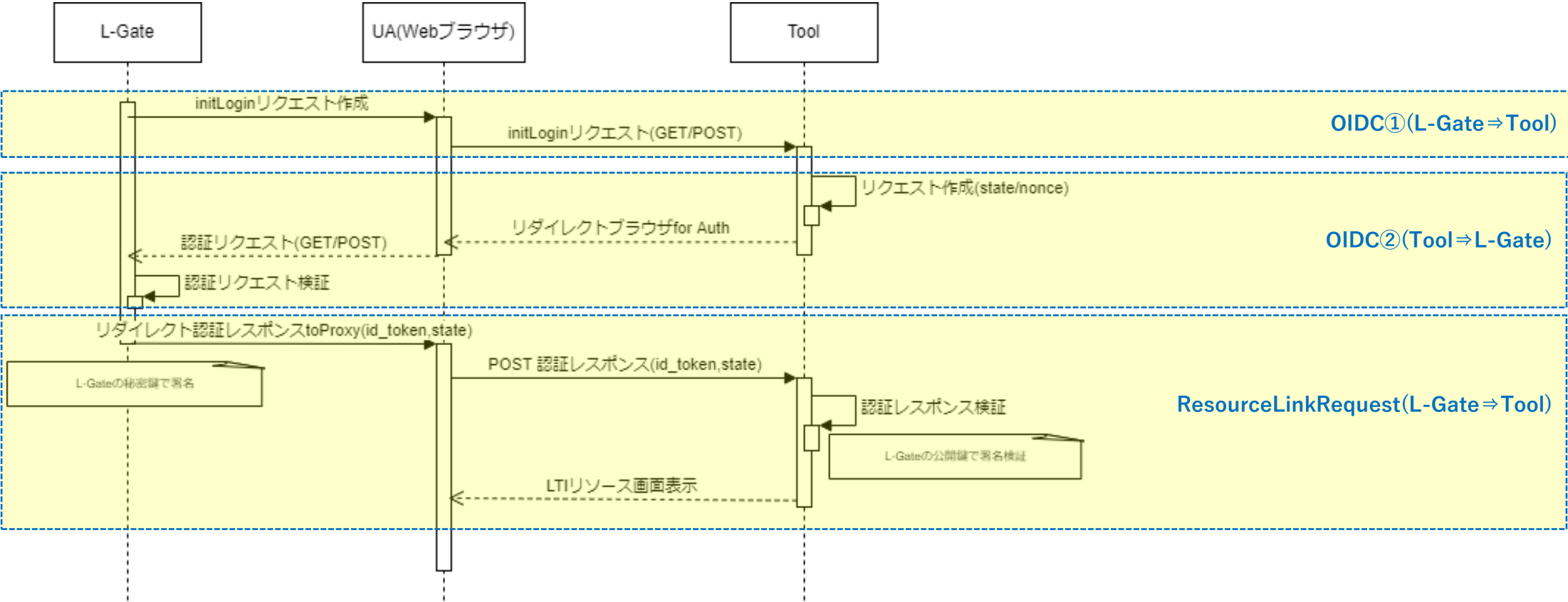


#	改訂日	シート	改訂内容
1	2022/8/3		初版
2	2022/8/9	S3.OIDC	① - issパラメータ：S2.接続情報シートを参照する記載に変更
3	2022/8/9	S4.ResourceLinkRequest	② - OIDC IDトークン - iss：S2.接続情報シートを参照する記載に変更 ② - contextトークン - type：[使用]⇒[未使用]に変更
4	2023/7/12	S3.OIDC	① - リクエストメソッドをPOSTに変更
5	2024/2/8	S2.接続情報	① - Public Keysetの説明を修正： [JWS]⇒[JWKS]に変更。LTI Core(SSO)の説明を追加。 ① - Subjectのパラメータ名に(Login Hint)の文言を追加。
6	2024/2/8	S3.OIDC	① - login_hintパラメータの説明を修正：[Login Hint]⇒[Subject]
7	2024/2/8	S4.ResourceLinkRequest	② - OIDC IDトークン - subの説明を修正：[Login Hint]⇒[Subject] ② - customクレームの説明を追加。
8	2024/2/16	S3.OIDC	② - 注意事項を追加。
9	2024/4/9	S4.ResourceLinkRequest	② - tool_platformクレームの説明を追加。
10	2024/7/9	S2.接続情報	① - パラメータを追加
11	2024/7/9	S4.ResourceLinkRequest	② - namesroleserviceクレームの説明を追加。
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			

ResourceLinkRequest



①ツール各社様より、事前にご提供いただく接続情報

事前に各社様ツールの下記情報をご提供いただく必要があります。

パラメータ	値	接続情報の説明
アプリ名		ツールのアプリ名称
Tool URL		学習ツールの起動エンドポイントURL
Initiate Login URL		OIDCのローンチURL OIDCシート①のリクエストURLになります
Public Keyset		ToolのJWKSのURL LTI Core(SSO)のみ行う場合は、利用しないためダミーの値で構いません。
Redirect URIs		リダイレクト先のURI (カンマ区切りで複数登録可能)
Subject (Login Hint)		L-GateユーザのLogin ID又は UUIDより選択可能。 ResourceLinkRequestのsub属性でセットされる。
Deployment ID の種類		ツールに送信するDeployment IDの種類を「個別指定」又は「学校コード利用」より選択可能。 ＜個別指定＞:固定値を送信します。特に指定がなければこちらで決めた値を送ります。 ＜学校コード利用＞: ツールを起動したユーザーが所属する学校の、文部科学省学校コードの先頭に「S_」を付加したものを送信します。 例) S_C123456789012
PII の送信		ユーザーの個人情報 PII(Personally Identifiable Information)をツールに「送信する」又は「送信しない」より選択可能。 S4.ResourceLinkRquestシート > ②Resource Link Request (id_token) > ユーザー情報クレームが、PII情報に該当します。
【本番環境について】 ツールの配信単位		ツールの配信単位を「全体」又は「自治体単位」より選択可能。 ＜全体＞: L-Gateを利用している全ての自治体でツールを利用できるようにします。ツールを配信したい自治体を弊社に都度ご連絡いただかなくとも、お客様側で設定を行いご利用いただけます。(※推奨) ＜自治体単位＞: 特定の自治体でツールを利用できるようにします。ツールを配信したい自治体を弊社に都度ご連絡ください。弊社での設定後、お客様側で設定を行いご利用いただけます。
【本番環境について】 URLやURIの設定単位		自治体によって、Tool URL, Initiate Login URL, Public Keyset, Redirect URIs が変動しない場合は「全自治体共通」を選択します。 自治体単位で変動する場合は「自治体単位」を選択します。 コンテンツ単位で変動する場合は「コンテンツ単位」を選択します。

②L-Gateよりツール各社様にご提供する情報

L-Gateよりご提供する情報。

パラメータ	値
Platform/Issuer ID	
Public keyset URL (JWKS URL)	
Authentication request URL	
Client ID	
Deployment ID	

①OpenID Connect サードパーティログインイニシエーションリクエスト

リクエストURL：	ご提供いただいたTool側のInitiate Login URL
リクエストメソッド	POST

パラメータ	値	固定値の有無	L-Gateでの 使用/未使用	LTI 1.3での 必須/オプション	LTI 1.3定義説明	該当項目
iss	Platform識別子 S2.接続情報シート-②-Platform/Issuer IDで定義		使用	必須	Platformを識別する 識別子	IMS Security Framework
login_hint	L-GateアカウントのUUID又はログインID S2.接続情報シート-①-Subjectで定義		使用	必須	ResourceLinkRequest内のsubと同じ値	IMS Security Framework
target_link_uri	学習ツールの起動エンドポイントURL ご提供いただいたTool側のTool URL		使用	必須	学習ツールの起動エンドポイントURL	IMS Security Framework
client_id	S2.接続情報シート-②-Client ID		使用	オプション	学習ツールを識別するためにPlatformで振り出すID	LTI 1.3 Core
lti_deployment_id	S2.接続情報シート-②-Deployment ID		使用	オプション	ResourceLinkRequestのdeployment_idと同じ値	LTI 1.3 Core
lti_message_hint	L-Gate側で生成		使用	オプション	Platformがlti_message_hintを連携する場合、学習 ツールはその値を変更せずに後続の②認証リクエスト に含めなければならない。	LTI 1.3 Core

②OpenID Connect 認証リクエスト

リクエストURL：	S2.接続情報シート-②-Authentication request URL
リクエストメソッド	GET
注意事項	各パラメータの値は[W3C.REC-html401-19991224]で定義された application/x-www-form-urlencoded フォーマットでシリアライズして送信してください。

パラメータ	値	固定値の有無	L-Gateでの 使用/未使用	LTI 1.3での 必須/オプション	LTI 1.3定義説明	該当項目
scope	openid	固定値	使用	必須		IMS Security Framework
response_type	id_token	固定値	使用	必須		IMS Security Framework
client_id	S3.OIDCシート-①-client_idで送信された値		使用	必須		IMS Security Framework
redirect_uri	ToolへのリダイレクトURL ご提供いただいたTool側のRedirect URIsに含まれるもの		使用	必須	事前にPlatformに登録されたリダイレクトURIと合致する必要がある。	IMS Security Framework
login_hint	S3.OIDCシート-①-login_hintで送信された値		使用	必須	①のlogin_hintで送信した値	IMS Security Framework
state	Tool側で生成 ResourceLinkRequestのHTTPパラメータにセットされます。		使用	必須	クロスサイトリクエストフォージェリ（CSRF）を防ぐためにTool側で生成する値。PlatformはResourceLinkRequest時にHTTPパラメータとしてこの値を返送する。	IMS Security Framework
response_mode	form_post	固定値	使用	必須		IMS Security Framework
nonce	Tool側で生成 ResourceLinkRequestのnonce属性にセットされます。		使用	必須	リプレイ攻撃を防ぐためにTool側で生成する値。PlatformはResourceLinkRequest時にこの値をIDトークンに含めて返送する。	IMS Security Framework
prompt	none	固定値	使用	必須		IMS Security Framework
lti_message_hint	S3.OIDCシート-①-lti_message_hintで送信された値		使用	オプション	①のlti_message_hintで送信した値を返送する。	IMS Security Framework

①ResourceLinkRequest HTTPパラメータ

リクエストURL：	OIDC認証リクエストでTool側より送信したredirect_uri S3.OIDCシート-②-redirect_uri
リクエストメソッド	POST

パラメータ	値
state	OIDC認証リクエストでTool側より送信したstate S3.OIDCシート-②-state
id_token	下記の一覧のクレームが含まれるJSON Webトークン

②Resource Link Request (id_token)

クレーム		属性名	値	固定値の有無	L-Gateでの 使用/未使用	LT11.3 での 必須/オプション	LT1仕様
OIDC IDトークン		iss	Platform識別子 S2.接続情報シート-②-Platform/Issuer IDで定義		使用	必須	issuer。Platformを表すOpenID Connect上のID
		sub	L-GateアカウントのUUID又はログインID S2.接続情報シート-①-Subjectで定義		使用	必須	subject。Platform内でのユーザID又はUUID
		aud	S2.接続情報シート-②-Client ID を配列化したもの		使用	必須	audience。Toolを表すOpenID Connect上のID
		exp	このIDトークンが期限切れとして処理されるタイムスタンプ iat属性の時刻に5分加算した時刻(UNIX時間)		使用	必須	expiration time
		iat	このIDトークンを発行した時刻(UNIX時間)		使用	必須	issued at
		nonce	OIDC認証リクエストで送信したnonce S3.OIDC-②-nonce		使用	必須	リプレイ攻撃を防ぐためのもの
		azp			未使用	オプション	authorized party。認可対象のToolのID。audに別の値を入れなければならないとき、本パラメータに宛先ToolのIDを入れる。
ユーザ情報		name	氏名		使用	オプション	氏名
		given_name	名		使用	オプション	名
		family_name	姓		使用	オプション	姓
		middle_name	空文字	固定値	使用	オプション	ミドルネーム
		picture	空文字	固定値	使用	オプション	アバター画像のURL
		email	L-GateアカウントのログインID		使用	オプション	メールアドレス
message_type			LtiResourceLinkRequest	固定値	使用	必須	LtiResourceLinkRequest
version			1.3.0	固定値	使用	必須	1.3.0
roles		roles	■児童生徒 以下2ロールを送信 http://purl.imsglobal.org/vocab/lis/v2/institution/person#Student http://purl.imsglobal.org/vocab/lis/v2/membership#Learner ■学校管理者/教員 以下2ロールを送信 http://purl.imsglobal.org/vocab/lis/v2/institution/person#Faculty http://purl.imsglobal.org/vocab/lis/v2/membership#Instructor		使用	必須	ロールの配列。語彙は別途定義。Instructor, Learner, Administrator, Faculty, Student, Content Developerなど。
role_scope_mentor					未使用	オプション	指導者としてアクセス可能なユーザのIDの配列（保護者としてLTIローンチした場合、自らの子どものユーザID）。
deployment_id		deployment_id	S2.接続情報シート-②-Deployment ID		使用	必須	連携識別子。
context		id	ログイン中ユーザの所属するクラスのUUID。		使用	必須	学習コンテキスト(LMSのコース、セクション等)のID
		label	idと関連しているクラス名（年度も含める。例: 2022年度:1年A組） 複数クラスに所属している場合は、アプリ起動時に利用者がクラスを選択する。		使用	オプション	学習コンテキストのラベル。LMSのコースコードやセクションの略称など。
		title	idと関連しているクラス名（年度も含める。例: 2022年度:1年A組） 複数クラスに所属している場合は、アプリ起動時に利用者がクラスを選択する。		使用	オプション	学習コンテキストのタイトル。LMSのコース名など。
		type			未使用	オプション	context種別の配列。語彙は別途定義。
resource_link		id	教材・アプリのアプリごとに振り出されるID。 deployment_idに対して一意。		使用	必須	Platform上でLTIリンクごとに振り出されるID。 deployment_idに対して一意。
		description			未使用	オプション	LTIリンクの説明
		title	教材・アプリのアプリごとに設定したタイトル		使用	オプション	LTIリンクのタイトル
target_link_uri			学習ツールの起動エンドポイントURL(Tool URL) S2.接続情報シート-①-Tool URL		使用	必須	実際にユーザに表示するLTIツールのコンテンツのURL。OIDC third party initiated login requestの際のtarget_link_uriと同じ値。Deep Linking Reponseの種別：ltiResourceLinkのurl要素で渡される値。
tool_platform		guid	テナント(お客様の)識別子（UUID）		使用	必須	PlatformインスタンスのID。issに対して一意。UUID推奨。
		contact_email			未使用	オプション	
		description			未使用	オプション	
		name	テナント（お客様）のURLのホスト名 https://★★★★.l-gate.netの場合、★★★★部分		使用	オプション	Platformインスタンス名
		url	テナント（お客様）のURL https://★★★★.l-gate.net		使用	オプション	このPlatformインスタンスのホームURL
		product_family_code	L-Gate		使用	オプション	
		version			未使用	オプション	製品バージョン
launch_presentation		document_target			未使用	オプション	本メッセージの発信者が、どのようにコンテンツを表示する(つもり)か。
		height			未使用	オプション	
		width			未使用	オプション	
		return_url			未使用	オプション	ToolがPlatformにユーザをリダイレクトして戻すためのHTTPSのURL。Tool上での活動終了時や、Toolが何らかの技術的な要因で処理を継続できなくなった際にこのURLにリダイレクトする。 Toolは、リダイレクトの際に以下の4種類のメッセージをPlatformに返送する場合がある(MAY)。Platformは、これらのメッセージの受け取りをサポートしなければならない(MUST)。 ・lti_errormsg, lti_msg ・lti_errorlog, lti_log

		locale			未使用	オプション	en-US, ja-JPなど。IETF BCP47: Tags for Identifying Languagesに準拠。
lis		person_sourcedid			未使用	オプション	
		course_offering_sourcedid			未使用	オプション	
		course_section_sourcedid			未使用	オプション	
custom		grade	所属学年コード ※こちらのリンクで一覧を確認できます。		使用	オプション	KV形式のカスタムプロパティ。
		classname	所属クラス名		使用	オプション	KV形式のカスタムプロパティ。
lti-agis		scope			未使用	オプション	以下のlineitems, lineitemについて、Toolによるアクセスを許可する認可スコープ。含まれるスコープはデプロイメントIDや学習コンテキストによって変化する。
		lineitems			未使用	オプション	AGS Line Item Serviceを用いたLine Itemの生成をサポートする場合、LineItems全体のURL。
		lineitem			未使用	オプション	このリソースリンクに対応するLine Itemが存在する場合、そのLineItemに対するAGSリクエストを受け付けるためのURL ベースURL/{contextId}/lineitems/{lineItemId}
https://purl.imsglobal.org/spec/lti-nrps/claim/namesroleservice					使用	オプション	
		context_memberships_url	NRPSのAPIエンドポイントURL		使用	オプション	contextごとのNRPSのAPIエンドポイントURL。 例： https://www.myuniv.example.com/2344/memberships
		service_versions	2.0		使用	オプション	このエンドポイントでサポートされているNRPSのバージョン。 例：["2.0"]